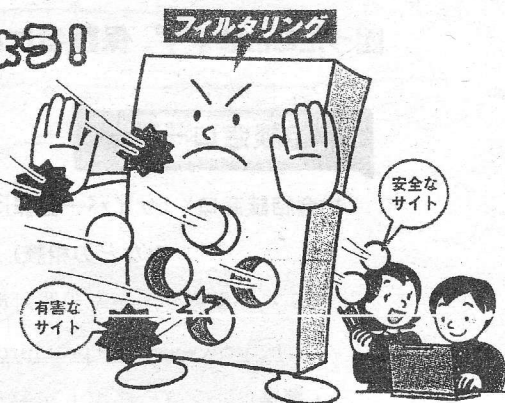


# 子どもたちを違法情報・有害情報から守りましょう!

インターネットは、いつでも好きな時に、自分が欲しい情報を欲しいだけ得ることができる便利なツールです。しかし、その一方では、違法情報・有害情報にアクセスしたことが原因で、子どもたちが犯罪に巻き込まれてしまうケースが多く発生しており、非常に大きな問題となっています。

こうした情報を掲載したサイトの中には、一見すると安全か、安全でないかを判断することが難しいものもあります。そこで、子どもにとって有害な情報の閲覧を制限することができる「フィルタリング」の利用をおすすめします。



## 出会い系サイト利用の被害状況

出会い系サイトに関係した事件における児童の被害の実態

### ■出会い系サイトに関係した事件の被害児童数

出会い系サイトに関係した事件の被害児童数は、平成14年以降、一貫して年間1,000人を超えています。

平成19年に出会い系サイトに関係した事件の被害者のうち85%(1,100人)を児童が占めています。

### ■携帯電話の利用状況

出会い系サイトに関係した事件の被害児童の95%以上が出会い系サイトへのアクセス手段として携帯電話を利用していました。



## フィルタリングの種類とメリット・デメリット

### フィルタリングの種類

#### ■ホワイトリスト方式

学習に役立つホームページなど、子どもにとって安全で有益と思われるホームページのリストを作り、これらのホームページ以外のものを見せないようにする方式です。携帯電話の場合は、携帯電話事業者による公式コンテンツにしか接続できません。

#### ■ブラックリスト方式

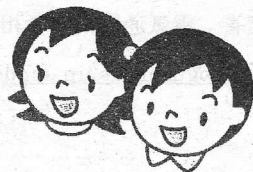
「アダルト」、「暴力」、「出会い」などのカテゴリごとに、子どもに見せたくないホームページのリストを作り、これらのホームページを見せないようにする方式です。通常、フィルタリング機能・ソフトを提供・販売する企業等がブラックリストを作成しています。

### フィルタリングのメリット・デメリット

#### ■ホワイトリスト方式

ホワイトリスト方式のメリットは、決められたホームページしか閲覧できないため、違法な情報や有害な情報を完全に遮断できることです。従って年少者の利用するフィルタリングとして適しています。

デメリットは、ホワイトリストに掲載されていない場合は、有益な情報まで遮断してしまうことです。



#### ■ブラックリスト方式

ブラックリスト方式のメリットは、ブラックリストを作成する企業等が、ホームページをチェックした上でブラックリストに掲載するかどうかを判断するため、無害な情報や有益な情報を遮断してしまう可能性が少ないことです。

デメリットは、ブラックリストに掲載されるまでは、違法な情報や有害な情報でも閲覧できてしまうので、100%安心というわけではないことです。